



福寿草



発行: 社会福祉法人辰野町社会福祉協議会・辰野町ボランティアセンター・情報紙編集委員会 TEL.41-5558



◇ボランティアセンター ◇ボランティア・市民活動ネットワーク

今年度のボランティアセンターと辰野ボランティア・市民活動ネットワーク運営委員会の事業計画です。ボランティアセンター20周年記念の事業も随時追加で行って行きます。ぜひお出掛け下さい。

事業カレンダー

◆7月20日(土)9時~10時

ボランティアセンター利用団体による春の大掃除

◆7月20日(土)10時~11時30分

ボランティア交流会…ボランティア団体・個人ボランティア・活動に興味のある方の交流の場、情報交換の場です

◆8月

辰野ボランティア市民活動ネットワーク運営委員会視察研修

◆10月1日(火)~10月31日(木)

ボランティアセンター秋まつり月間…作品展示、写真でたどるボランティアセンター、ボランティア体験教室など

◆10月12日(土)

ボランティアセンター秋まつり…ステージ発表、抽選会被災地応援物資販売、美味しい楽しいお店屋さん、豚汁無料サービス・抽選会など

◆11月

福祉ボランティア学習のつどい…町内の小・中・高校の活動発表会です

◆11月9日(土)9時~10時

ボランティアセンター利用団体による秋の大掃除

◆令和2年2月

協働のまちづくりをすすめるボランティア懇談会…助成金・支援金を利用して活動した団体の活動紹介を予定しています

◆年間を通して

- ・ボラセンショップの管理・ボランティア情報ボードの管理・各種体験講座
- ・やすらぎサロン(希望日に傾聴を行っています)・城前のサクラ見守り隊への協力

4月のボラセン イベント盛りだくさんで来所者1000人越え!

お花見縁側 4/8~4/24まで開催



桜の開花が予想より遅れ、季節外れの雪が降りましたが、13日間開催し、1165名の方がお越し下さいました。初めてボラセンに立ち寄ったという方もいて、ボラセンを知っていただく良い機会にもなりました。



桜茶を気に入って 何度も来てくれた かわいいお客様♡

収集ボランティアの会から、アルミ缶の還元金でお花見縁側ののぼり旗とポール・重しを8セット寄贈していただき、道行く人たちにお花見縁側の開催をアピールできました。

たまたま立ち寄ったサックス演奏者の佐藤さん。演奏をお願いすると快く演奏して下さいました♪



桜いろいろを作って食べよう!

お花見縁側特別企画! レンジで簡単に作れるいろいろ講習会を行いました。家に帰ってから何度も作ってみたという声がたくさん届きました。男性の飛び入り参加もあり、楽しい会になりました。



【材料】

- ◆小麦粉(薄力粉) 100g ◆砂糖 100g
- ◆水 300cc ◆桜の塩漬け 適量

【作り方】

- ① 小麦粉と砂糖をよく混ぜ、ダマにならないように水を少しずつ加える。
- ② タッパーにラップを敷き①を流し込み、桜の塩漬けを散らしてラップをピタッとしてレンジ600Wで7~8分チンして冷ませば出来上がり!

粘土でブローチ講習会

~母にママに妻に贈ろう 手作りの花のブローチを~

母の日企画としてブローチ講習会を行い、約30名が参加しました。粘土で型抜きをした花に好きな色を塗り重ねて、深みのあるステキな色のブローチが出来ました。



てすさびの会の皆さんを講師に2講座を開催しました。



お花見縁側特別企画として開催。ポケットにいっぱい花を詰め、見ていて癒されるにゃんこが完成しました。



娘さんからお母さんへ!



ほのほのランチ調理スタッフ “食品衛生講習会”

伊那保健福祉事務所 食品・生活衛生課の方を講師に、手洗いの大切さ、手袋の正しい使い方等をお聞きし、食中毒を出さないよう、スタッフ全員が改めて気を引き締める機会となりました。今年度も安全でおいしいお弁当をお届けします。



特殊なジェルを手塗りにして手洗いをした後、ブルーのライトに手をかざすと洗い残しが光る“手洗いチェッカー”を体験しました。



来所者の心を癒す花・花・花...

春になっても寒い日が続いていましたが、やっと暖かくなり、あちらこちらでプランターや花壇の花が目を引きようになりました。今年も、ボランティアの皆さんが、花苗植えをして下さいました。

ボラセンの玄関前の花



“花作りの会”のみなさんがプランターに色合いを考えながら植えて下さいました。玄関前でみなさんをお迎えます！

“ガーデンクラブ”のみなさんが花壇の草取りと花苗植えを行いました。道路からも図書館の中からも目を引く花壇です！

辰野図書館の花壇の花



辰野町ほたるの里
世代間交流センター

茶の間

通信 59

TEL / 0266-41-2180
FAX / 0266-41-2187
月～土・9:00～20:00

ほたる祭り期間中
(6/15(土)～6/23(日))の
「茶の間」休館日と開館時間
のお知らせ

- 平日は【開館】午前 9:00
【閉館】午後 4:00
- 土・日は休館になります。

●茶の間ギャラリー

- ・[展示期間①] 6月 6日(木)～6月13日(木)
 - ・[展示期間②] 6月25日(火)～7月 4日(木)
- 地域活動支援センター「つむぎ」陶芸作品展

●Mr.ポテトの親子バルーンアート教室

6月 8日(土) ①10:00～12:00
②13:30～15:00

●ぬい絵サロン

6月 7日(金) 10:00～11:30

●オレンジカフェ

6月12日(水) 10:00～11:30

●折り紙サロン

6月21日(金) 10:00～11:30

●歌Cafe♪「ちえみーな」コンサート&「もぐり座」と野口 両情を歌おう!
6月29日(土) 14:00～15:30

♥毎週金曜日と土曜日の13:00～20:00は婚活サポート結婚相談日

♥婚活サポート結婚相談のご予約は月曜日から土曜日随時承ります!

お気軽にご連絡ください!

専用携帯番号 090-5431-7552

6月の
予定



「季節の味を楽しもう!ヨモギ香る草もち作り」講座を開催しました!

辰野町ボランティアセンター20周年を記念して、今回の講座はボランティアセンターと茶の間で協力の共同開催となりました。辰野ボランティア・市民ネットワーク運営委員会の皆さんにも事前準備や当日のお手伝いをお願いし、協力していただきました。

講座は午前と午後2回に分けて開催し、37名と大勢の方にご参加いただきました。もち粉の練り方や餡の包み方のコツなどを教わりながら、一口サイズの草もちを作りました。

摘みたてのヨモギを使った手作りの草もちで季節の味を味わい、おいしく楽しいひと時になりました。



お知らせ掲示板



お問い合わせ・お申し込みは

辰野町ボランティアセンター
〒399-0426 長野県上伊那郡辰野町宮木城前 2674-1
TEL (0266) 41-5558 FAX 41-3922
平日午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分
e-メール volunteer@tatsunomachi.jp

ご意見・ご感想を
お寄せください

ボランティア情報紙「福寿草」をご希望
の方は辰野町ボランティアセンターにあ
りますのでお気軽にお出かけください。



「音手紙ほのほの」夏号 CD をお届けします

今回は、八千草薫さんの「あなただけの、咲き方で」を朗読します。

美しい歳の重ね方をされている八千草薫さん。野に咲く花のような自分らしく生きるヒントをお楽しみ下さい。

音手紙ほのほのは、70 歳以上でご希望の方には無料で CD をお渡しします。CD は返却不要です。

申込み・問い合わせ先：辰野町ボランティアセンター



“竹あかり” 作りに参加しませんか！

昨年のほたる祭りで大好評だった竹あかりを今年も作ります。作業はすでに始まっていて、6月10日頃まで行います。ほたる祭りをいっしょに盛り上げませんか？

◆日時 毎日 9時～17時
(責任者の都合でお休みになることもあります)

◆作業場所 松尾峡下辰野側入り口
◆作業内容 電動工具を使って竹に穴を開ける
◆持ち物 皮手袋(無い方は軍手)・タオル
飲み物・保護メガネ(ある方)

汚れても良い恰好でご参加下さい
◆参加費 無料ですが、竹あかりを持ち帰り希望の方は費用がかかります

◆その他 1日先着20名様まで
(傷害保険の都合により)

小学生以下は保護者同伴でお願いします

◆問合せ先◆
責任者：垣内
電話 41-3553
(電話・ファックス)
090-2415-7405



にゃんボラッ

No.171 作・木橋 達



ボーイスカウト辰野第1団 新入団員募集!!

ボーイスカウトでは、子どもたちが冒険心をかき立てられる数々の野外活動を異年齢の仲間と協力して取り組むことを通して、自立した社会に役立つ子どもたちの育成を目指しています。

- ◆活動日 月1回、季節に応じて半日～宿泊を伴う活動があります
- ◆活動内容 火おこし・ロープの結び方・刃物の使い方・火の使い方・料理
テントの立て方、救急法、サイクリングなど
- ◆対象 小学校2年生～高校生(小学校1年生もご相談ください)
- ◆問合せ先 正木 43-0605 ・ 下平 43-2361

女の子も
入れます!



ついでに

私の将来の夢

私は将来、マンガ家になりたいです。今は学校で友達と本を書いたり、家では絵を書いたりしています。

マンガを書くときは、どんなキャラクターにするか、どんなセリフにするのかを集中して書くので他のことは忘れてしまいます。

公園へ行ったりする時や、散歩をする時は、本のネタを探しています。マンガを読んでくれる人が『また次も読みたい』と思ってくれる様なマンガを書きたいです。まっすぐ夢をあきらめずに進んでいきたいです。

萩原歩生

次回の「ついでに」は
中山佑真さんです。

